

I 世界史B問題

イラン系ソグド人は、サマルカンドを中心とするソグディアナを拠点に、オアシス都市を往来する東西貿易で活躍し、中国の絹や生糸を西方にもたらした。彼らの用いたソグド語・ソグド文字は中央ユーラシアの共通語・文字となった。ソグド人はトルコ系の突厥帝国において政治や外交で活躍し、隋唐帝国では軍人や芸術家としても重用された。安史の乱を起こした安祿山もソグド系の軍人であった。ソグド人やササン朝滅亡後に亡命したイラン人が西方の文化をもたらし、唐の都長安ではゾロアスター教・マニ教・ネストリウス派キリスト教などの寺院が建立され、ポロ競技、銀器などの工芸品、胡風の音楽や舞踊が流行し、国際色豊かな文化の形成に寄与した。

(300字)

Ⅱ 世界史B問題

A

a	クライシュ
b	ムラービト

(1)	ニハーヴァンドの戦い
(2)	アズハル=モスク
(3)	ガーナ王国
(4)	コーカンド=ハン国
(5)	ビン=ラーディン
(6)	ベルリン条約
(7)	ミット
(8)	マンサブダール
(9)	グプタ様式
(10)	ジンナー
(11)	チャンパー
(12)	スーフイズム
(13)	ナーナク

B

(14)	広州
(15)	天朝田畝制度
(16)	緑営
(17)	琉球
(18)	モンテスキュー
(19)	イリ地方
(20)	黒旗軍
(21)	イギリス
(22)	キール軍港
(23)	ウラジヴォストーク
(24)	カスティリオーネ（郎世寧）
(25)	澎湖諸島
(26)	張作霖
(27)	サイゴン
(28)	鄭和

Ⅲ 世界史B問題

1962年に核兵器配備を巡って米ソ間にキューバ危機が起こったが、回避されると平和共存が進み、翌年に米・ソ・英3国は部分的核実験禁止条約に調印した。その後核保有を米・ソ・英・仏・中5国に限定する核拡散防止条約が成立したが、フランスやこの間に核兵器を保有した中国はこれらの条約に反対し、国際関係は多極化した。1970年代に米ソ間の緊張緩和が進み、2度にわたる戦略兵器制限交渉が妥結されたが、1979年のソ連のアフガニスタン侵攻を機に対立は再び激化し、アメリカのレーガン大統領は戦略防衛構想を発表した。しかしゴルバチョフが登場するとソ連は協調外交に転じ、1987年に米ソ両国はINF全廃条約に調印し、冷戦は終結に向かった。

(300字)

IV 世界史B問題

A

a	アウグスティヌス
b	トマス=アキナス
c	エンリケ航海

(1)	ヘレネス
(2)	『国家論』
(3)	コンスタンティヌス帝
(4)	エフェソス
(5)	ハプスブルク家
(6)	プラノ=カルピニ
(7)	教会大分裂を解消し、ウィクリフ・フスを異端としてフスを火刑に処した。
(8)	スペイン王が植民者に、先住民のキリスト教化を条件として先住民の統治を委託した。
(9)	ピサロ
(10)	ラス=カサス

B

(11)	先史時代	
(12)	(ア)	キープ（結縄）
	(イ)	情報・数を縄の結び目で記録して伝達に利用した。
(13)	『ギルガメシュ叙事詩』	
(14)	「死者の書」	
(15)	ローマ=カトリックに対抗して、ギリシア正教会がスラヴ人に布教をしようとした。	
(16)	活版印刷術が開発され、ルターの教説が印刷されて急速に広まった。	
(17)	キューバ島	
(18)	ディズニー	
(19)	ベトナム戦争	
(20)	湾岸戦争	
(21)	リビア	エジプト